

科目名	社会科学Ⅲ Social Science III			担当教員	村山 聡・三宅岳史 (窓口教員：権藤 典明)		
学 年	5年	学 期	通 年	科目番号	08114	単位数	2
分 野	一 般	授業形式	講 義	履修条件	選 択		
学習目標	<p>目標区分 (A-1)：倫理観－倫理観を育て社会貢献の意義を理解・表現できる。 (A-2)：広い視野－国際的観点から多面的な意見を述べられる。 (A-3)：技術者倫理－技術の発展の功罪，技術者の責任を述べられる。</p> <p>民族（国民）国家の役割と機能は何か？現在、世界で最も支配的な政治的単位である民族（国民）国家は、その役割と機能が変化する歴史的存在であり、そのため、地域的多様性を有した存在でもあることを理解する。</p>						
進め方	テーマごとに映画やビデオを鑑賞し、戦争そして経済の世紀であった 20 世紀について各自に考えてもらい、持続可能な社会の将来像を考えてもらう。その際、歴史学的な社会科学の基本概念や思考方法の解説を行い、社会学および経済人類学的なものの方の見方の会得をめざす						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	1. 崇拝の対象としての国家 (10) (1) 「インディペンデンス・デイ」と国家 (2) 国家を象徴するものは何か			国家にはそれぞれの現実があるが、母国への愛着は、人間によって生み出される過程であることを理解できる。			
	2. 国家という場所の成立 (10) (1) 「ラスト・サムライ」と国家 (2) 国民国家誕生のプロセスを考える			国民国家の誕生と成熟は、人間が子供から大人になっていく過程に似ている。人間と同様に、国民国家も多様であり、その多様性が生れる理由が理解できる			
	3. 戦争はなぜ避けられないのか (10) (1) 「ベトナムから遠く離れて」と国家 (2) 遠くの戦争と戦争への関与を考える			20 世紀は戦争の世紀であった。なぜ、戦争は避けられなかったのか。戦争を決断した人々の論理を理解し、その論理を批判することができる。			
	前期末試験						
	4. 消費社会と国家 (10) (1) 消費文化謳歌の前身 (2) 「モナリザ・スマイル」と消費文化			20 世紀の新たな自由と平等は、消費における自由と平等であった。その自由と平等の実現には、世界の平和が前提とされていることに気づく。			
	5. 経済成長と国家 (10) (1) 高度経済成長の時代を伝える映像 (2) 経済発展と国家の役割			経済社会の誕生と成熟も、人間の成長に類似した側面がある。ある時期までは保護が必要であるし、成熟した段階においては、自ら目標を持つことが必要であることを理解できる。			
	6. グローバル経済と国家 (10) (1) 新たな自由を考えるための映像 (2) 主体性・社会性・公共性のバランス			20 世紀は経済の世紀であった。しかし、拡大する経済社会は、地球環境への負荷を拡大し、社会的不平等も拡大しつつある。その実態を理解し、持続可能な社会の実現に向けて、新たな自由の意味を考えることができる。			
	後期末試験 試験返却(1)						
評価方法	評価は、テーマごとに課すレポートと定期試験によって行う。レポート 40%、定期試験 60%の配分で評価する。						
関連科目	公民Ⅰ（2年） → 公民Ⅱ（3年） → 社会科学Ⅲ（5年）						
教 材	ビデオ教材とテーマごとのプリント（講義概要）						
備 考							